

玉川上水南側地区のまちづくりの基本的な考え方についての主な意見

【提出状況】

意見募集期間	令和5年7月20日から令和5年8月7日まで
意見提出者数	196名（提出方法：WEBフォーム142件、意見箱28件、FAX20件、郵送6件）
住所別内訳	市内151名、市外45名

【意見まとめ】

Q2 まちづくりの重点ポイントについての主な意見

○全体

- ・まちづくりの考え方に対する賛同（19件）
- ・「水」を重点ポイントとすべきである（8件）
- ・生物多様性の保全を重視すべき（8件）
- ・建物の圧迫感の緩和を望む（4件）
- ・影響を受ける周辺住民の視点を取り入れてほしい（4件）
- ・今後の具体化に期待し、定量的な数値に基づく計画を求める（3件）
- ・「必要」ではなく、より強く「重要」であるとの強調を望む（1件）
- ・水と緑のまちとしてはいずれのポイントも重要（1件）
- ・重点ポイントの実現には地区計画での規制が必要（1件）

○代官山の樹林地の保全

- ・貴重な緑地の保全は重要（7件）
- ・代官山の樹林地を拡大し、保全すべき（3件）
- ・自然地として保全することが重要（2件）
- ・代官山の樹林地だけでなく、多面的な検討が必要（1件）

○緑の連続性の確保

- ・連続した緑空間として、上水公園も地区計画区域に含めるべきである（4件）
- ・緑の連続性を確保することは必要である（1件）
- ・市民が散策できる場となってほしい（1件）
- ・緑地同士の面的なつながりが必要（1件）
- ・玉川上水から代官山への緑の連続性を確保することで、代官山の生物多様性を保全できる（1件）

○開かれた緑の確保

- ・遊びや交流、憩いの場としての魅力ある公園を望む（3件）
- ・開かれた緑を確保することは大切である（1件）
- ・回遊性のある散策路が良い（1件）
- ・閉鎖された緑から市民に解放された緑空間になることは賛同できる（1件）

○玉川上水沿いの空間形成

- ・玉川上水沿いだけでなく、昭島駅北側からの連続した景観への配慮も重要（4件）
- ・玉川上水は地域にとって大事な空間である（1件）

○歩行者の安全性・回遊性の確保

- ・最優先事項としてほしい（2件）
- ・通学路などは特に歩車分離が重要（2件）
- ・歩行者の安全が大切である（1件）

○その他

- ・開発事業の撤退または規模縮小を望む（20件）
- ・緑地の確保が重要であり、みどり率や緑被率を考慮すべき（16件）
- ・昭島の水と緑を守ってほしい（8件）
- ・代官山だけでなく、周辺の緑地も保全すべき（8件）
- ・交通量の増加による影響に不安がある（4件）
- ・環境面で、緑地の保全は大切だが、交通や騒音など周辺地域への影響も懸念される（3件）
- ・開発計画前提の地区計画に反対（3件）
- ・緑地の質も検討すべき（2件）
- ・市は緑地の保全と市民の安全を最優先に取り組むべき（2件）
- ・数値目標を設けるべき（1件）
- ・市と事業者との協議状況を明らかにしてほしい（1件）
- ・企業とのコラボイベントによる地域の盛り上げ（1件）
- ・交通量の規制に関する地区計画の目標の設定が必要（1件）

Q3 まちづくりのイメージについての主な意見

○全体

- ・水と緑のまち昭島のイメージや住環境、水の安全を守ってほしい（6件）
- ・つつじが丘団地よりも高い建物は建てられないようにしてほしい（2件）
- ・市民の多様な意見を取り入れ、将来を見据えた計画を希望する（1件）
- ・まちなみを無視した建物（例：パチンコ屋や分譲住宅）の建設は不要（1件）
- ・開発を規制するための適切な地区計画が必要である（1件）

○緑の配置

- ・代官山の樹林地など既存の緑を保全し、緑の量を確保してほしい（28件）
- ・緑地の質も重要であり、動植物の生育環境にも配慮すべき（8件）
- ・緑の配置の考え方賛同する（6件）
- ・敷地境界には中高木を含んだ緑地帯を設けるべき（5件）
- ・代官山の樹林地は開放せずに自然地として保全すべき（4件）
- ・玉川上水沿いに連続した緑地を配置し、自然豊かな環境を望む（2件）
- ・実現してほしいが、倉庫が林立する状態では怖さを感じる（1件）
- ・代官山の樹林地の保全を条例で規定すべき（1件）

○玉川上水沿いの空間

- ・玉川上水沿いの植物または散策を楽しむ場への圧迫感・日照等に配慮した壁面後退や高さ制限が必要（18件）
- ・現在の景観と緑地を維持してほしい（9件）

- ・玉川上水沿いの空間形成の考え方賛同する（7件）
- ・玉川上水沿いの動植物の生態系を保持し、自然と共存するまちづくりをしてほしい（7件）
- ・玉川上水沿いの建物の高さは、離れた場所からの眺望にも配慮すべき（3件）
- ・松中橋から拝島上水橋までの玉川上水南側に、天王橋から一番橋までのような空間が形成されることを期待（1件）
- ・東京都景観計画の図にある、木漏れ日を楽しむようなイメージになると良い（1件）

○安全性・回遊性を考慮した通行空間

- ・新設道路により緑の配置が分断される（24件）
- ・東西方向の道路の新設反対（19件）
- ・自転車レーン整備や既存道路の歩道整備等により、歩行者・自転車双方の安全確保を図ってほしい（9件）
- ・安全性・回遊性について、特に配慮を望む（4件）
- ・東西方向の道路は必要（2件）
- ・新設道路は、玉川上水沿いや代官山の動植物の生息環境に配慮してほしい（2件）
- ・歩行者空間は既存樹木を活かした配置とし、車いすやベビーカーが通行しやすい空間にしてほしい（1件）

○その他

- ・交通量増加による渋滞や環境悪化が不安（13件）
- ・開発計画はまちづくりのイメージを実現できない（11件）
- ・開発事業の撤退または規模縮小を望む（10件）
- ・交通量増加による通学路等の安全に不安（10件）
- ・東西道路の新設では南北方向の渋滞は軽減されないため、地区外を含めた既存道路の拡幅等の整備が必要（7件）
- ・事業者に対し、環境指標の改善に貢献できるような制約や、搬入ルート等の交通の面での制約を求めるなど、しっかりと交渉をしてほしい（6件）
- ・駅前やいちょう並木、つつじが丘団地等からの景観にも配慮してほしい（3件）
- ・交通量増加の見込みと対策を知りたい（3件）
- ・地区計画区域内には住民はおらず、特に交通問題は周辺住民や市内全域へ影響を考慮する必要がある（2件）
- ・ゴルフ場のシンボル的な木を残してほしい（1件）

Q4 その他まちづくりについての主な意見

（地区計画について）

- ・集まった意見を地区計画に取り入れてほしい（11件）
- ・昨年11月の環境影響評価調査計画書に関する意見書や事業計画に関する要請書の内容を実現するために、地区計画でできることを最大限探ってほしい（9件）
- ・都市計画マスタープランと整合が取れた地区計画を策定してほしい（7件）
- ・地区計画の策定を決めたこと自体には賛同する（1件）
- ・上水公園も地区計画区域に入れるべき（1件）

(開発計画について)

- ・開発事業の撤退または規模縮小を望む（40件）
- ・市民の声を事業者に届けてほしい（10件）
- ・交通量の増加による通学路への影響が心配（7件）
- ・騒音や大気汚染への対策を事業者に働きかけてほしい（6件）
- ・上位計画となる都市計画マスタープランとの整合を事業者に要求すべき（4件）
- ・物流センターは別の場所で計画すべき（4件）
- ・開発によって、より魅力的になるようなまちづくりをしてほしい（2件）
- ・24時間稼働の施設ができること等による治安の悪化が不安（2件）

(説明会等について)

- ・説明会の回数を増やしてほしい（3件）
- ・このような意見を求める場を作つて頂けるのは嬉しい（2件）
- ・事業者、市とも早期の情報提供をしてほしい（2件）
- ・集まった意見を集計して結果を公表してほしい（1件）

(その他)

- ・自然を多く残してほしい（16件）
- ・水資源も守つてほしい（9件）
- ・昭島の良さや魅力を失わないようにしてほしい（9件）
- ・まちづくりはこの地区だけではなく全市民に関わることである（7件）
- ・しっかりと市の思いを伝えて、事業者とともに将来を見据えたまちづくりを考えてほしい（6件）
- ・東京都や近隣市との協力体制のもとにまちづくりを進めてほしい（5件）
- ・防災機能も持たせたまちづくりに期待する（3件）
- ・人だけではなく、動植物への影響も考慮するべき（3件）
- ・交通や環境の専門家の意見を取り入れるべき（2件）
- ・子どもたちが遊べる場所を設けてほしい（1件）
- ・玉川上水沿いの風致地区の指定を検討してほしい（1件）
- ・緑を守るために条例を作つてほしい（1件）
- ・玉川上水の樹木や生物の調査をしてほしい（1件）
- ・市でも交通量調査を実施してほしい（1件）